

# 全国学校ギター合奏コンクール 2023 審査講評

A-1 番 団体名 Nanyang Technological University Guitar Ensemble (南洋理工大学ギターアンサンブル)

課題曲 曲名：Let's Swing / 有馬礼子

自由曲 曲名：絃楽のための三楽章トリプティックより第3楽章 / 芥川也寸志(小林徹編)

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	マナー○ アナリーゼ○ 技術△ 音色○ 初めての参加だそうですね？ もうちょっと元気良いといいですね。 アゴーキクがもう少しハッキリすると良くなると思います。何弾いているのかわからないところあります。バランスを考えてください。	マナー○ アナリーゼ○ 技術△ 音色○ やっぱり元気が欲しい。緊張しすぎかもしれませんね。もっと f f のところ出していいと思いますよ！急に小さくなる場所も極端にして良いでしょう。でも全体的にもっと遊んでください。真面目すぎて伝わってこないところ感じます。ひとりよがりなんです。こっちの方が曲らしかったの点が良いですよ。
新堀	マナー○ アナリーゼ○ 技術× 音色○ 指揮必要 リズムに乗ってよい。楽器編成も○	マナー○ アナリーゼ○ 技術◎ 音色○ 指揮必要 もう少し音圧を高める意識を。mp が多すぎ。ギタロン、f 少なすぎ。
竹内	アナリーゼ◎ 楽譜を丁寧に読みこみ、大変音楽がこなれていました。バス(音の支えとしての)パートがやや弱いのが気になりました。	アナリーゼ◎ こちらも p ~ f までの表現の幅の広さが素晴らしく、アンサンブルとしての完成度に優れています。ただし、不協和音を含む和音など、全体としての響きのイメージが欲しいところもありました。 33 小節からのバランスが残念でした。
猿谷	もっと元気よく弾きましょう	どのパートがいつ重要か皆で話し合しましょう。
堀	チューニングをしっかりと。内声の音量が小さすぎるところがある。	冒頭の p の音量は素晴らしいが縦の線があつて欲しい。Adagio の p はギターの良いところが本当によく出ていたと思います。
柴田	技術あと少し。アウフタクトのトレモロが合い難い。しかしダイナミクスをうまく利用している。繊細な部分もあって好感持てる演奏。	速いスケールに対応できていない部分がある。和の部分の嫌味なく表現されている。音楽を掘り下げることが出来る数少ないグループなのかもしれない。
中島	音色○ アイコンタクトが良く取れている。澄んだ音色が印象的。もう少しはざんだ楽しさが欲しい。	アナリーゼ○ ダイナミックレンジも広く、思いきったピアノシモが良い。最後の ff から sf はクレッシェンドではないか？

## 【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール 2023 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-16-14

Tel. 03-3530-5341